**第１８回市民自治推進委員会　まちづくり部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和元年１１月２５日（月）　１８時３０分～ |
| 開催場所 | 登別市役所　２階　第２委員会室 |
| 出席者 | （部 会 長）中原　義勝（部 会 員）山田　正幸、稲葉　一彦、工藤　隆行（庁内委員）田中　道郎（庁内委員兼事務局）大越　智輝（事 務 局）伊藤慶一郎 |
| 欠席者 | （副部会長）成田　育磨（部 会 員）渡部　雅子、川島　雅司、髙橋　達朗 |
| 議　　題 | ①チラシ（案）の内容及び活用方法について②まちづくり部会の今後の活動方針について |

協議の概要

まちづくり部会では、町内会への加入を呼び掛けるチラシを作成することとしており、前回の部会での意見を盛り込んだ（案）ができたため、その内容の確認とチラシの活用方法、また、チラシ作成後のまちづくり部会の取組の方向性について協議する。

議題①－１　チラシ（案）の内容について

●協議事項

・別の会議で出たのだが、ある町内会では毎年、防災訓練を実施しているのだが、

町内会に加入していながらそういった取組の存在を知らない、という声があった

ので、もっと町内会活動を知ってもらうことが重要であると感じた。

・これまでの町内会と未加入世帯との関わりは、例えば回覧を回さないなど、どち

らかと言うと“町内会未加入世帯を排除する”動きが主であったが、逆に、加入

していなくても回覧を回す、ゴミステーションの利用を許可するといった対応を

取った方が、「町内会に加入した方が良いのかも」といった考えが生まれる可能

性もある（ある町内会ではこの取組によって、アパートの未加入世帯・６世帯す

べてが町内会に加入した、という実例もある）。

　・“義務的”という理由で加入している人もいるかと思うので、「町内会活動の紹介」

と「加入の呼び掛け」という２つの要素をシンプルに盛り込めれば良い。

　・チラシ（案）ができた段階でのチラシの活用方法は、町内会に加入している世帯

に配布される広報紙への折込みでは意味がないものと考えていたが、例えば「町

内会を知ろう、町内会に入ろう」という作りにするならば、加入済世帯、未加入

世帯双方に配布しても効果が期待できるので、広報紙への折込みも意味を成すも

のとなる（議題①－２　チラシの活用方法についてと重複）。

　・町内会が防犯灯を設置している、ということを知らない人が多いことからも、町

内会の取組であることをもっと全面的に出しても良いと思う。

　・町内会活動に興味の無い人を引き込むためにも、一見、否定的な内容のキャッチ

コピーの方が目に留まるかもしれない。

●決定事項

　・チラシ（案）に本日出た意見を反映させ、鳴海事務局長に確認してもらう。

・次回の部会で再度、内容を確認してもらい、最終（案）を固める。

議題①－２　チラシの活用方法について

●協議事項

・子供がいる若年層は町内会と関わる必要性について、ある程度認識しているが、

関わりを持たなくてもよいと考えている世帯をどのように町内会に取り込むか

が大事なところなので、そこを中心に対策を練る必要がある。

・チラシの内容を「町内会を知ろう、町内会に入ろう」という作りに改めるため、

活用方法は当初の予定通り、広報紙や市民窓口での配布を主に行う。

●決定事項

・作成したチラシは、３月に折込み作業をし、広報４月号で配布するスケジュール

とする。

議題②　まちづくり部会の今後の活動方針について

●協議事項

　・作成したチラシについて、ただ配布して終わりではなく、更に掘り下げた取組を

展開するのも良いかと思う。

　・マイナンバーカードが必要なものなのであれば、まちづくり部会がその普及に関

わり、普及率アップを通じた“まちづくり”ができないか。

　・歩行者が歩こうとしている横断歩道（信号機がない）で、一時停止する車があま

り見られず、都道府県別に見ても北海道が下位にランクインしているとの統計も

ある程だが、止まるという意識を持ち合わせていればスピードも自然と制御され

るはずで、それを徹底していけば『事故が少ない街』、『歩行者にやさしい街』に

繋がるし、取組としてできればおもしろい。

　・これまで、登別の基幹産業は観光であったが、観光以外にも、例えば畜産など、

何か考えるべきと思う。

●決定事項

　・テーマについては継続協議事項とし、次回の部会で引き続き検討することとする。

【次回会議】

　・日程：チラシの修正案作成後に開催する。

・内容：チラシの修正案の確認と、まちづくり部会の今後の活動方針について引き続き協議する。